

わさめがわ 議会だより

No
131

平成25年2月

こどもセンター
「小正月・だんごさし」

12月定例会

新年のごあいさつ	2
一般会計補正予算	3
村の考えを問う（一般質問）	4～7
補正予算質疑（概要）	8
議案調査	9
みなさまの声	10

復興・除染のため、 皆さんと一体になって

議会議長 前田 三郎

新年明けましておめでとございます。

皆様には、平素より議会運営に特段のご理解ご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。

さて、一昨年の3・11東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から、間もなく2年の月日が経過しようとしています。

昨年は、復興元年、また除染に向けて始動をした1年でありました。震災による復旧・復興事業は順調に推移をしておりますが、放射性物質の影響は広範囲に及んでいます。

4月からは、食品の暫定基準の厳格化に伴い、放射性セシウム基準が

100ベクレル（1kg当たり）に強化されました。

これにより、村内の牧草は基準値を超え、牛のえさとして使用できず、粗飼料（干草）の緊急配布を村独自にて講じてきました。また福島県産の米の安全をアピールするため、村でも全袋検査により、安全性を立証するとともに、農産物のモニタリング検査を継続強化し、安全安心、風評被害対策に努めています。

落ち葉、稲わら、堆肥などの汚染物の減容化のため、環境省による仮設焼却炉の実証試験については、村議、行政区長による監視委員会を設置し、焼却の安全性、環境への影響について監視体制を取り、万全を期して遂行

する考えでありますので、ご理解をお願い申し上げます。

今年は、放射線量が1ミリシーベルト（年間）を超える地区の住宅除染の着手、牧草地の除染作業（昨年）から継続が予定されています。

議会では、開かれた議会など目指して、6月に議会改革特別委員会を設置しました。12月に皆様から、お寄せいただいた村民アンケートは集計して、報告させていただきます。結果は議会改革に役立てていきたいと思っております。

師走の衆議院議員総選挙では、自民党が圧勝し、第二次安倍内閣がスタートしましたが、金融政策、大型の緊急経済対策の政府決定などが報道され、雇用の創出や福島復興・除染への加速感、期待度が持たれています。自立した村づくりのため、「まめで達者な村づくり」を推進し、少子・高齢化対策、商工業の振興、将来を担う子どもたちの

教育の充実に努め、本村の目指す「有機の里づくり」事業を見失うことなく、汚染を取り除き、循環型農業の再生に向け地道な努力をしていかなければなりません。

今年も復興、除染のために村民の皆さんと一体となり、立ち向かってい

きたいと考えます。
今年も皆様にとりまして、良き一年でありますよう、ご祈念申し上げます。
年のあいさつといたします。



前田 三郎 議長





大樂 勝弘 村長

一般会計補正予算

12月定例会

ブランド・イメージ交付金、ヘリポート広場整備費など

1億1623万9千円増額を可決

12月定例会は、12月12日から14日までの3日間の会期で開かれた。

今定例会では、平成24年度一般会計及び特別会計補正予算、専決処分報告のほか、議員発議による条例の一部改正など11案件が審議された。

提出された全ての議案を原案のとおり、全会一致で可決した。

また、一般質問では、4人の議員が登壇し、村政全般について質した。

主な歳入補正

- 地方交付税（普通交付税）
1億1140万4千円追加
- 国庫支出金
・消防防災施設整備費
2915万円追加
- 県支出金
・福島県ブランド・イメージ回復支援市町村交付金
4209万4千円追加
・除染対策事業交付金
1926万8千円減額

会 計 別			補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計			1億1623万9千円増	37億1945万1千円
特 別 会 計	国 保	事業勘定	387万4千円増	4億9015万9千円
		直診勘定	109万2千円減	8185万7千円
	簡 易 水 道	15万6千円増	1億1914万5千円	
	村 営 バ ス	0	741万7千円	
	集 落 排 水	8万4千円増	3139万8千円	
	介 護 保 険	4万4千円増	4億3785万4千円	
	交 流 施 設	0	1614万3千円	
	学 校 給 食	59万円増	1億2285万7千円	
合 計			1億1989万5千円増	50億2628万1千円

- 受託事業収入
・米の全袋検査推進事業費受託料
580万9千円追加
- 村債
・過疎対策事業債
680万円減額
- ・公営住宅建設事業債
7050万円減額
- ・緊急防災・減災事業債
2120万円追加

- ・積み立てるもの
4209万4千円追加
- ・定住促進対策事業費（新居地内土地・建物購入費）

主な歳出補正

○総務費

- ・東日本大震災復興基金積立金（ブランド・イメージ回復交付金を積み立てるもの）

- 農林水産業費
283万5千円追加
- ・農用地除染業務委託料
995万4千円減額
- ・農用地除染原材料費
658万3千円減額

- 教育費
1800万円追加
- ・西山村民体育館耐震補強工事請負費
2000万円追加
- ・屋内多目的スポーツ施設敷地購入費
804万3千円追加

○消防費

- ・空中消火活動用広場整備工事請負費
2750万円追加
- ・資機材保管等施設整備工事請負費

補正が行なわれた8会計。村営バス、交流施設会計の総額は変わらず内容が変更された。



「ヘリポート広場」が整備される村民運動場

問

焼却炉設置後の安全性と対応を伺う

答

線量データを常時測定の上、公開し、監視を強化する

星
一彌
議員



質問

9月18日にマスコミにより鮫川で放射性物質の焼却実験と報道され、村民や近隣地域より不安の声が寄せられた。

11月12日には環境省、担当業者より焼却炉の放射性物質の除去説明を受け、処理能力の安全性については理解することができたが業者の説明だけでは不安は解消される訳ではない。高濃度の焼却灰の保管と、排出ガスの状況を知ることによって

不安を払拭できると思うが、村としての安全に取り組む考えを伺う。

答弁(村長)

汚染された農林業系の廃棄物は、稲わらと牛糞、牧草サイレージと落ち葉、住宅除線作業で発生する庭木など600トンである。これらの廃棄物をこのまま放置しておくことはできないため、焼却して減容化を図り少ない量で保管することとした。環境省から提案され検討



安全が求められる焼却炉設置予定地

再質問

現在の工事の進捗状況は。

答弁(村長)

申請書類の一部に不具合があったようだが、その書類の検査が終わったようだ。5日後から生コンの手配がついたので継続して工事するとの説明を環境省から受けた。

再質問

除染する戸数が170戸としているが変わりはないか。

答弁(村長)

1時間あたり0・23マイクローシーベルトを超える戸数は230戸あり、

全て除染しなくてはならない。

問 「6次産業」の推進策を問う

答 大豆を上手に中粒まで加工できるような加工品開発を目標とする

質問

大豆は耕作者の意欲もあり、収穫量も順調に推移していると思われるが、最近大豆の繰越在庫が増えているように思われる。6次産業を推進して消費拡大すべきと思うが考えを伺う。

再質問

大豆を粉にして大豆うどん、パン、クッキーとして商品開発している町村もある。加工品の取り組みについて伺う。

答弁(村長)

大豆生産は農家にとつて換金作物として年々増加してきたが、連作障害や病害虫も増え、良質な大豆が少なくなってきた。加工品は原発事故の風評被害があり売り上げが低下しているのが現状である。在庫は21年産から23年産で65トンあり、その4割が小粒や規格外となっている。今後は連作障害を防止し、農家によつては生産を休んでもいい、麦などの緑肥作

答弁(村長)

うどんやパンの加工はおもしろいアイデアと思う。日本の農業を立ち直すのは6次産業化である。新しい政権になってからも6次産業には力を入れてくれると思うので、国の資金を利用し真っ先に取り組む。



宗田 雅之 議員

問

介護予防のためのスポーツジム設置をしてはどうか

答

自主的トレーニングを望むグループ等の支援を図る

質問

健康で夫婦仲良く暮らせばとほとんどの人が考えているのではないかと。これらの手助けの一環として、スポーツジムを設けてはと思う。これにより健康づくりによる医療費の削減と将来の生きがいづくり、また成人病防止対策にも意義あるものと考えますが、所見を伺う。

答弁(村長)

各地区に健康運動サポーターさんがいるので、地域で年間を通して活動

できるグループを組織し、実施されることが望ましい。

村には「さめがわスポーツクラブ」があり、各事業を実施している。また健康増進やメタボ対策などを目的の健友会やレクダンス、フラダンス、ヒラティスなどの団体が定期的に活動している。今後は生活習慣病になる前の段階で食い止め、健康な状態に戻すことに鋭意努力をする。

再質問



健康増進を目的としたトレーニング施設

村では室内ゲートボール場を西野にと進めているが、村中央から離れると利用する方が減っていく。「さざり荘」の周辺に温泉療法、健康管理を兼ねた施設づくりが将来の村づくりの方向性と考えてるが。

答弁(村長)

村トレーニングセンターにはトレーニング施設もある。しかし利用がないのでは非グループで利用してほしい。さざり荘は立派に整備された。周辺の宝物利用で「足湯」や「お湯の給湯事業」を展開できるようにしたい。

再質問

トレセンのトレーニングルームは閉まっているなど利用できずに宝の持ち腐れであり、改善策は必要ではないか。

答弁(村長)

保健センターの利用が高まり、トレーニング器具の利用がないようだ。健康サポーターのご協力もいただきたい。

問 緊急時における連絡網の対応について問う

答

正確で迅速な消防、救急体制により、住民の安全・安心が確保されるように努力する。

質問

昨今、東野地区で火事の通報があり、常備消防車が出動してから、防災無線による連絡が以前より時間がかかったように思う。また誤報だとわかった後の対応もかなり時間を要したように感じるが、連絡網に不都合があったのか。高齢化が進む中で有事の際には緊急の対応が必要かと思うが考えを伺う。

答弁(村長)

10月31日に発生した誤報通報について説明する。通報は白河消防本部の一般加入電話に「住宅火災」の通報があった。直ちに鮫川分署の消防車を火災出動させたが、「119番通報でなかったこと」また「通報者の携帯に確認したところ持ち主は別人」であり、火災通報に不信な点があった。村防災無線に

よる消防団の招集放送をすべきか消防本部から役場担当者にお問い合わせがあったが、火災が発生している可能性を否定できないため防災無線放送で招集した。現場に到着した鮫川分署員が確認したところ通報が誤報であり、情報の確認のために一定の時間を要した。

再質問

以前に地理的な問題で常備消防が出動しても場所がわからなく時間がかったことがあった。消防署員が地理などの勉強をしているのか、その指導について伺う。

答弁(村長)

訓練は怠らずにやっていますが、署員にも村内出身が少ないのが事実であれ、地理の勉強、普段の警ら活動を強化し、過ちを繰り返さないよう申し入れる。

問

広域的な地域医療の充実策について伺う

答

東白川地域が連携して現状の把握、課題や方策を検討する協議が必要

関根 政雄 議員



地域医療の充実が求められる診療所

質問

全国的に地域医療の過疎化は大きな社会問題となっている。今後の本村や近隣町村を含めた課題について伺う。

① 診療所の利用状況と課題は。
② 緊急病院の医師不足の対応は。特に産婦人科や小児科の医師確保に不安はないか。
③ 医療問題の解決策としての協議会はあるのか。
④ 医師の育成を広域的に取り組めないか。

答弁(村長)

① 1日平均患者数は22年度で29・9人、23年度は

26・4人であり13・2%減少している。

② 平成21年の埼玉県厚生病院の産婦人科の存続問題は関係機関の要望の活動で回避できたが、医師が高齢になっていて存続も危惧している。

③ 白河広域圏で「第二次救急医療運営協議会」があり、県南保健福祉事務所長を会長に医師会や各病院長、消防本部、担当課長の構成により設置されている。

④ 県の奨学金制度や関連大学医学部に対し、人材育成の資金を寄附し、講座の開設など医師を派遣する制度の活用で

医師確保に努めている。

再質問

本村診療所の医師の待遇、報酬の内容、越虫地内の貸与住宅の利用状況は。

答弁(村長)

現在の診療所の先生は今年3月末までの契約であり、土曜日から月曜日まで休診している。待遇は月額で145万円である。住宅は利用していないが、夏休み、冬休みには利用しているようである。

再質問

広域連携で地域医療を目指す医師の育成ができないか。村が先導的になり支援策を模索すべきではないのか。

答弁(村長)

医師の生活環境、次世代を担う子どもの学習環境の整備をし、東白川を良くしようと常に話している。東白川地域からも住んでみたいという医師が必ずでてくれると思う。

問 県道、村道の日陰林の解消策は

答 各区长の意見を聞きながら継続する

質問

冬期の県道、村道の凍結は通勤や通学時に大きな支障をきたしている。住民からの要望箇所と今後の着工時期などの計画を伺う。

答弁(村長)

今年度は国県道では勿来浅川線上地内、棚倉鮫川線の真坂地内、国道289号の前ノ沢・深沢地内を予定している。要望箇所は浅屋敷地内、滝ノ下地内、宝木地内で25年度の実施に向けて県に要望している。村道は今年度、長坂地内、田尻地内、関下地内を予定している。

再質問

伐採まで時間がかかるならば、塩カルや砂の配置、巡回して維持管理を徹底すべきだが。

答弁(村長)

全力をあげて維持管理に努める。

問 第3次振興計画の実績、第4次振興計画の策定について伺う

答 第4次振興計画の策定委員会で評価、村復興計画で補完し継承する

質問

第3次振興計画は実績を残せたか。また第4次振興計画の策定手順は。

答弁(村長)

第3次振興計画は9割方の事業について着手、実施中。第4次振興計画は今年度から準備に入り、住民アンケート、地区懇談会、住民委員の募集、策定委員会の開催をし、振興計画審議会を経て策定する。

再質問

若者や女性の意見を振興計画に反映すべきでは。

答弁(村長)

若者や女性は会議に出にくいと思われるが、大事なことなので、声を聞く組織づくりを検討する。



前田 武久 議員

問

消防団の待遇改善について伺う

答

報酬等については他の非常勤特別職や管内の状況を踏まえ検討する



組織の編成替えて安心・安全を守る村消防団

質問

本村の消防団は奉仕の精神で住民を災害から守る責務を負わされている。その団員数も絶対数の不足から定数見直し、組織の編成替え等の苦慮策にて対応されている。これからはますますその傾向が続き、少数精鋭型の消防活動が必要となるため、団員の犠牲的負担軽減の諸改善が必要と思われるが考えを伺う。

答弁(村長)

国の三位一体の改革の減額に伴い、年額で団長は20万4千円、副団長は

11万9千円。組織改編の際に分団長は7万円。平成9年度から団員は6%の増額。ポンプ自動車等の係長、係員は7千4百円から9千円の技術手当を支給しており、これも平成9年度から5%の増額して以来、改定はしていない。

質問

報酬アップを見直す時期にきているのではないかと。

答弁(村長)

本村、東白川の幹部の皆さんの考えを聞き検討する。

問 図書館の改築工事について伺う

答 設計通りに着工している

質問

改築工事の内容と当初設計、変更設計の有無について伺う。

答弁(村長)

現在の34.5mを解体し、132.57mを増築する総2階建ての工事である。施設内に倉庫を配置し、自然学習施設、絵本コーナー、畳の「ゴロゴロスペース」、読み聞かせができる配置を予定している。2階にはウッドデッキを設ける。設計変更はビニールシートからタイルカーペットへ。物置への移動書庫の導入を考えている。

再質問

現状は3階から1階まで解体されているが変更前と同じ設計か。

答弁(村長)

3階部分は全て撤去し2階部分を利用する。設計の変更はない。

再質問

耐震で3階部分を取り壊して改修する説明を受けたが、1階から3階まで全部壊すとは聞いていない。

答弁(村長)

3階部分を壊すだけでは構造上もたない。前側を壊し新たにそこに増設して補修しないと建物としては認められないので、3階部分を壊して総2階にするとして。設計に変更はない。

再質問

平成15・16年度に補助金で前の建物を改築した。補助金の返還を交渉中だと答弁しているが、その点はどうか。

答弁(村長)

3階部分の自然体験学習館の備品を全部1階2階に配置するので補助金の返納は免れた。

再質問

工期はいつまでか。

答弁(村長)

2月末日である。

問 屋内多目的運動場について

答 子どもたちやお年寄りも元気が出る施設にしたい。

質問

建築工事の設計内容と工事費、建築場所について尋ねる。

答弁(村長)

この施設は乳幼児の遊びや運動、フットサル、ゲートボール、グラウンドゴルフの運動を目的として整備する。建物は鉄骨製で26m×59mで床面積1,534㎡で本体が2億円、管理施設が5千万円で検討。場所は「西野区民運動場」を選定している。

再質問

場所の選定など住民の声を聞いて進めるべきでないか。

答弁(村長)

こどもセンターの野外屋内運動場も考慮し、場所の選定をした。西野区民の了解も得ているので理解いただきたい。

補正予算質疑(概要)

問 東日本大震災復興基金(積立金)4209万4千

円の使途は、主に農村体験ツアー、特産品開発、観光力アップなどであるが、今回、焼却炉問題が新聞等でも取り上げられている。住民の心配を取り除くため、同基金の使い道として、検査体制の第三機関委託を提案したい。

また大丈夫だと言っても焼却炉で、何かあったら即時止めるという、国との覚書を取るべきだ。

(宗田 雅之議員)

答(村長)

これは福島県のブランドイメージ交付金で、3年間の使用期間で計画をした。

モニタリングは、先に村議員と区長さん方での話であった。第三者機関が必要であれば、皆さん

と相談しながら計画をさせていただきたい。

覚書については、国のセシウム空間線量基準値(排ガス中濃度)20から30ベクレルに対し、10分の1の数値で設定し、その基準である2ベクレルを上回った場合には、直ちに焼却は中止する考えで覚書を取り交わす予定。

問 屋内多目的スポーツ施設、敷地購入費804万3

千円であるが、施設の設置場所を西野地区にすることは、こどもセンターにも近く、理解するが、スポーツ、消防関係での利用度を考えれば村の中心的な場所に、県内・外の広範囲な利用度を考えればクロスカントリコーンのある鹿角平を設置場所に考えてみてはどうか。

(岡部 明議員)

答(村長)

まず施設が必要と思った理由は、8月の老人クラブ県南ゲートボール大会の鮫川会場が、あいにくの雨天で折角お越しいただきながら、多くの方に帰っていただく残念な結果になったことである。場所の選定では、さざり荘のゲートボール場に屋根をかける施設もいいと思ったが、がけ地条例の関係でこの場所は断念した。

西野区民運動場を選定した理由は、こどもセン

ターに近く、子どもたちが雨や放射能に心配なく利用できること、また運動場の利用が近年減ってきており、孫のため、お年寄りのためにと西野区臨時総会で理解(土地の売り渡し)を得られたものである。

問 設置場所については、村内全域の意向や意見はなっていない。

村長が、今後も場所の検討の約束があれば、800万円の件は認めたい。

(前田 武久議員)

答(村長)

設置場所は、いろいろな意見を出していただき、場所は選定させていただく。

専決処分を承認

▼平成24年度一般会計補正予算(第5号)

補正額450万円を増額し、補正後の歳入歳出の予算額をそれぞれ36億321万2千円とする。

(歳入)

・県支出金(委託金)

衆議院議員選挙執行経費

450万円追加

(歳出)

・総務費(選挙費)

衆議院選挙費

520万円追加

・予備費 70万円減額

※専決処分とは

村長が、緊急のため議会を招集する時間的余裕がないとき等に、議決すべき事柄を処分すること。
この場合は、次の議会に報告し議会の承認を求める手続きが必要となる。

議員発議

▼議会委員会条例の一部改正

これまで地方自治法に規定されていた委員会設置等の事項が、町村の条例に委任されたことにより、所定の整備をするもの。

▼議会会議規則の一部改正

地方自治法の改正により、条文の番号が変更したことにより、該当の番号を改めるもの。



村有財産として取得する西野区民運動場





議案調査



総務文教 常任委員会

調査内容

- 空中消火活動用
広場整備工事
- 資機材保管等施
設整備工事
- 定住促進対策事
業費（土地・建
物購入）
- 東日本大震災復
興基金（福島県
ブランド・イメ
ージ回復支援市
町村交付金）
- 屋内多目的スポ
ーツ施設敷地購
入費



産業厚生 常任委員会

調査内容

- 農用地除染委託
業務
- 米全袋検査業務
委託料
- 農業振興費、備
品購入費

議会開会中に各常任委員会は、議案の内容について調査を行い、詳細について各課長などから聞き取り検討調査した。

ふるさと 鮫川への想い シリーズ⑦ 私の心の ふるさと

我が輩の生まれ故郷は西山の
大平である。年は今年2月
で58歳になる。昭和30年生ま
れだ。祖父、両親、兄弟妹の
8人家族、私は次男坊。明る
く活発で元氣な子供だった。
周りには「やんちゃで手がつ
けられない子」と言われたが
自分はごくごく普通な子と認
識し育ったと思っている。

中学は浅川中学で、頭脳明
晰、スポーツ万能とはいかな
かったが、スポーツだけは得
意だった。特に足は速く、県
大会にも出場した。高校は建
築を目指し郡山の日大東北へ



ブータン国王との晩餐会にて

関根和雄さん

(埼玉県川口市在住)

【プロフィール】

【出身地】：大字西山字大平

【生年月日】：昭和30年2月25日

【最終学歴】：産業能率大学

【家族】：妻、次女

【趣味】：登山、バードウォッチ
ング、読書、ゴルフ

【資格】：日本体育協会公認 山
岳上級指導員、産業能
率指導協会認定、マネ
ージメント管理指導員

【勤務先】：株式会社KTS
日航流通サービス(株)
HP: <http://www.kts-jp.com>

【役職】：代表取締役

【支店】：千葉県山武市・栃木県
佐野市・足利市・千代
田区神田 川口2ヶ所
従業員130名

【職種】：一般貨物運送事業 人
材派遣紹介業 保険代
理店 健康食品(サプ
リメント)化粧品販売
製造 建築業(内装工
事) 農業生産業 保育
園経営

進んだ。男子校のためか「任
侠の世界」にはまり、2年の
時に転校する羽目になった。私
はもともと「我故郷に愛着」を
感じていたので残っていた
かったが、上京し都立墨田工
業高校へ転校した。

この学校は全国から「働きな
がら学べる」とあって沢山の生
徒が在籍していた。また知ら
ない世界を教えてくれた。
特にバイクは腕を磨き都内は
勿論、全国へ旅した。

しかしいつしかそれも尽き
「もっと感動できることを」と
地元山岳会の門を叩いた。そ
の魅力にはまりその4年後、
昭和53年4月にヒマラヤ(標
高7800メートル)の登頂を
仲間と成功させた。そんなこ
んなで、高校の卒業は半分遅
れたが、無事大学まで卒業す
ることができた。

仕事の面では海外遠征費を
稼出するために入社した運送会
社で日夜がむしやりに働いた。
その甲斐あってそのまま正社
員で入社。入社時、社員が1
00名程度であったが、僅か
15年で約1000名になり、
支店、営業所も45ヶ所にまで
増えた。私も営業担当、支店
長、事業部長、役員と兼務職
で頑張った。そして目標を達
成した時は特に嬉しかった。

しかし時代の荒波は容赦な
く襲いかかってきた。人の心
など無視で悲しかった。私の
ような田舎者で気の優しい者
にとっては、退社の道しか残
されていなかった。そして私
は独立することを決断した。

一から自分の会社で自分の
思うようにやろうと決めた。
あれから9年になる。我本
社は埼玉県川口市にあり、車両



ヒマラヤ山頂の登頂達成を喜ぶ筆者

80台、社員数約130名が働
いてくれている。私は本当に
恵まれている。社員に家族に
関係者に、特に田舎の両親に
は感謝している。また両親を
見守ってくれている兄弟姉妹
も頭が下がる。私はこの世の
中で一番の幸せ者かもしれな
い。

毎日感謝の気持ちを故郷に
向かって手を合わせ遙拝する
ことに決めている。またこれか
らも命ある限り、世のために何
をしたら人が喜んでくれるか、
を自問自答しながら歩んで行
きたいと考えています。

村民アンケート ご記入への御礼

鮫川村議会は議会改革の第一歩とし
て、村民の皆様にはアンケートをお願い
しましたところ830通のご返信をい
ただきました。約80%の回収率に議会
に対しての関心の高さとご意見の多さ
に驚いています。

村民の皆様からの「厳しい指摘や
ご意見ご提言」は皆様の率直な声であ
り、厳粛に受け止め、公正な集約を経
て公開し今後の議会活動のための貴重
な資料とさせていただきます。

あらためて、アンケートをお寄せい
ただきました村民の皆様には厚く御礼を
申し上げます。

編集後記

明けましておめでとございます。
議会として3月11日の震災以降、復
興とともに原発の放射能の問題とそ
他の問題が折り重なっています。特
に徐染については村長はもとより議
会としても元の鮫川にしたい思いで
頑張っています。

村民の皆様のご協力を宜しくお
願い申し上げます。

(編集委員 岡部 明)